

おばあちゃんから人間として大切なことを学び旅立っていく。

文部科学省選定

優秀映画鑑賞会推薦

おばあちゃん ありがとう

同和問題啓発映画



ローキーワー
八頭司重信

脚本 三輪恵津子
音楽 森 琢磨
撮影 林 健作
照明 山北 一祝
録音 マール 佐俣
記録 梅津 泰子
整音 栗山日出登
編集 荒木 健夫

製作 ■ 八頭司 享

監督 ■ 原田 隆司
新屋 英子
小山 篤子
三田 圭子
宮田 昌彦
谷村 三波 俊介
三波 豊和
荻谷 俊介

企画 / (財) 滋賀県解放県民センター・滋賀県
制作 / 共和教育映画社

おばあちゃん ありがとう



製作 ■ 八頭司 享

荻谷 俊介

三波 豊和

谷村 昌彦

宮田 圭子

三田 篤子

小山 優

新屋 英子

監督 ■ 原田 隆司

プロデューサー/管田浩・八頭司重信 脚本/三輪恵津子 音楽/森琢磨 撮影/林健作 照明/山北一祝 録音/マイクル佐俣 整音/栗山日出登 編集/荒木健夫

制作意図

差別で文字を奪われながらも、一生懸命生きてきたおばあちゃん。そんなおばあちゃんの生き方から人間として共に生きる喜びと輝きを取り戻した家族や周囲の人々が、それぞれに新たな生活へと旅立って行く。――!

この作品は、差別の現実に向き合い、支え合う中で、互いに理解し合いながら、差別のない家庭・地域をつくる実践のあり方を示唆し訴えようとするものです。



あらすじ

中学三年生の雅之はおばあちゃんの友子(新屋英子)に新興住宅地にある公民館で大好きな絵を習うことを勧めます。

父の和也(荻谷俊介)や母の千鶴(宮田圭子)は賛成しますが恋人の父に差別を受けていた兄の敦志だけは反対します。しかし、友子は絵画教室に通い始めます。ある日、書き終えた絵に「サインを入れたら!」と言われ動揺します。友子は字を書くことが出来なかったのです。「自分の名前も書けないなんて今まで何してたんやろ?」「あの人同和地区の人らしいで」

そんなうわさを耳にするようになり絵画教室に通うのをやめてしまふ友子。そのうわさは、雅之のクラスメイトの亮一・瞳・裕子・英子にも広がり「雅之のおばあちゃん、かわいそうやな」と、何気ない亮一の言葉に瞳は「おばあちゃんはかわいそうなんかじゃない!」と反論します。雅之は今まで差別を受けたことは無く、生まれて初めて差別に直面するのです。

瞳は、父・五郎(三波豊和)が、障害をもっているため小さい頃、よくいじめられていたのです。でも、両親に愛情いっぱい育てられたことを知り「私はかわいそうな子やないわ。同和地区に生まれた人をかわいそうって思う方が間違っている!」と強く訴えます。

絵画教室の講師三沢(谷村昌彦)も雅之におばあちゃんに教室に来よう勧めます。「おばあちゃんは差別で文字を奪われた。絵を描くことまで奪われていいのか?」「おばあちゃんのがんばる姿をみんなにみせてほしい。一緒に文字の勉強をしよう」と誘います。

その話を聞いた友子は文字を習う決心をします。三沢の教え子の今井先生(三田篤子)がボランティアで文字を教えることを引き受けました。

文字を習う生徒も、在日コリアンの金さんや日本人の男性と結婚したフィリピン出身のリサさんが加わり活気づいていきます。絵画教室の生徒達も友子の姿を見てしだいに自分達は何気なく言ったことが、差別していたことになると気づきます。

友子は『人の心は必ず変えられる』このことを信じて、生まれたところを恥じるのではなく誇りに思うことの大切さを雅之に話します。敦志もまた、自ら新しい人生に向かって恋人と共に旅立って行くのでした。

そして、雅之の高校の入学式の日、家族が友子を公民館へ連れ出します。そこには、三沢先生、今井先生、そして絵画教室と識字教室の生徒達、雅之のクラスメイト達がいました。おばあちゃんの卒業式だったのです。今井先生から「ひらがなの課程を修了したことを証します」と、生まれて初めて手渡された卒業証書を見て友子は涙ぐみます。雅之は友子からいろいろなことを学び「卒業ってこれから始まるってことなんや」「おばあちゃん・ありがとう」…そんな気持ちでいっぱいでした。

学習の視点

- 自分は差別をしてないと言いながら知らず知らずのうちに差別をしてしまう人が、今なお多い社会の実態に気づく。
- 同和問題を自分の問題としてとらえ、差別のない明るい社会をめざす積極的な態度と実践する力を育てる。
- 文字は人間の「いのち」です。さまざまな事情で文字を奪われた人たちがいまだにいることを真摯に受け止め、相手の気持ちを思いやり、共に考え、喜び合える場づくり、仲間づくりの大切さを学ぶ。
- 昔からの習慣、世間一般の常識など当たり前と思われている事の中にも、人権意識の向上を阻んだり、部落差別をはじめ様々な差別を助長しているものがあることを学び、家庭・地域を見なおす。

価格 ⑬ ¥241,500 ① ¥84,000 (税込) 上映時間 52分



共和教育映画社

URL <http://www.kyowafilm.com> E-mail avl@kyowafilm.com